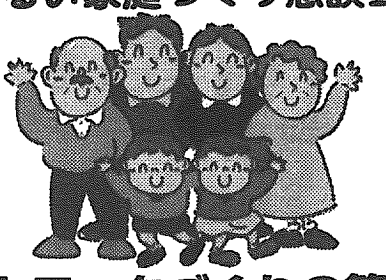
小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956－0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38－2234
FAX (0250) 38－3041
編集 公民館報編集委員会

「明るい家庭づくり懇談会」



～ネットワークづくりの第一歩～

群れて遊ぶ子どもの姿がみられなくなり、祖父母と孫たちは別々に食卓を囲み、地域に叱ってくれる人が居なくなったこと等を憂い、これからの明るい家庭づくり、地域づくりの必要さを誰でも感じていることと思われます。

このような状況の中にあって、公民館がこれからの家庭教育をどのように支援していくかは、切実な課題です。

第一回目の懇談会は、十月十五日（金）「家族って何だ」と題して、開催しました。

これは、日頃の人間関係についての悩みを解消しようとする学習を進めながら、明るい家庭づくりネットワークを広げていきたいという願いで企画したものでした。

最初に公民館が調査した結果をもとに、それぞれの年代層によって「家族」の見方が違っていることを発表しました。〔表Ⅰ参照〕

表Ⅰ

町の声、私はこう思う“家族・家庭”とは

中高生の立場 【保護される時期】	○ 束縛 ○ きゅうくつ ○ ぬるま湯 ○ 考えたことがない ○ 守ってくれる
親の立場 【保護する時期】	○ 育てるところ ○ 責任あるところ ○ 一番大切なもの ○ 疲れて帰るところ ○ かけがえのないところ
高齢者の立場 【子育ての終わった時期】	○ 気がねのないところ ○ 安住の場所 ○ 強い絆 ○ あきらめ ○ 忍耐

【館長の話題提供】

館長自身の子どもの時から大学時代までの家族の中で体験した、あの時の母親の愛情が忘れられないという思いや、最大のピンチを家族全員から救ってもらったことや、改めて父親を見直したこと等のエピソードを語り、家庭とは「逃げ込むところ」で、家族とは「最後の最後、許してくれる集まり」であることを強調された。

【懇談の一例】

「履物をそろえる」ことについての話題になったときのことです。次のような発言がありました。

・言うことは簡単。やることは困難。私の父親は履物をそろえることにうるさかった。

・ふとしたことで、祖父母の言ったことを思い出すことも大切だ。どうせ言ったってだめだから、言わないでおこうというのは、やめた方がいい。

・嫁ぎ先の家が履物をそろえない家なので嫁姑で闘い続けた。そして履物をそろえる家族になった。

・靴のマナー、食事のマナーは、誰がしつけるのがいいか。

・マナーや躾は、よそへ行く時に困らないように家庭内で教えてあげた方がいい。

・自信を持って、箸の持ち方、靴のそろえ方を教えてやることだ。

・子どもを信じることも勇気づけることになる。

など等、途切れることなく話し合いが続きました。

【もっと話し合いたい内容】

・孫の教育に孫親はどうかかわればいいのか。

・嫁と姑の考えのずれをどう埋めるか。

・親子の会話をどのようにして増やすか。

・夫（妻）への不満をどうして解消していくか。

・子どもや孫の躾をどうしていったらいいのか。

最後に、家庭づくり懇談会のこれからの進め方について、例を挙げて提案しました。

〔これからの進め方（例）〕

表Ⅱ参照

後日、次のようなご意見・感想をいただきました。

・これからは、靴がそろえてなかったら、その場で呼んで注意をしたいと思う。

・昔は若い人の忍耐が必要だったが、今は年寄りの方の忍耐が必要になった。

・こういう懇談会を続けてもらいたい。すごくためになった。次回も参加したい。

幅広い世代の人が集まり、グループになって、それぞれ感じたり教えあって、家庭づくりネットワークが広がっていくことを願っています。

表Ⅱ

これからの進め方（案）

No.	教室名	活動内容（例）
1	祖父母と孫学級	○ 祖父母と孫の会
2	親子教室	○ 親子チャレンジ教室
3	子育て教室1（乳幼児期）	○ ひよこ学級
4	子育て教室2（小中学生）	○ 小中学生を持つ親の会
5	その他の教室	○ 夫婦、嫁、姑と一緒に参加できる教室
6	明るい家庭づくり懇談会	○ 年1回、教室別に活動内容を発表
7	地域学級	○ 地域に根ざした活動（遠い目当て）

ちょこっと一言 (164)

子どもと過ごす夜

舟戸 井浦 ちひろさん

先日、テレビが子どもに与える影響について書かれたものを目にした。子どもは大人と違い、現実と非現実を分けながら、物事を判断する能力がまだ身についていないから、テレビから受けるものを全身で受けとめてしまうとのこと。そして激しく変わる画面に、もものすごいストレスを受けていると…。

考えてみると、子どもに見せたい番組はほんのわずかで、人を傷つけるもの、人を中傷して笑いあうものが多すぎる。CMさえも目が痛くなるような激しいものが多い。毎日、毎日これを見続けている子どもの心の中に育つものって何だろう？

一週間のうち数日、夜のテレビを消してみた。絵本を読んだり、父親とトランプしたり、ゲームをしたり…。

親は手がかかるけど、子どもとこうして過ごすのもほんの数年とわりきってみようと思う。

公民館情報

公民館報の縮刷版完成

中央公民館では、町政百十周年を契機に公民館報の永年保存化を計画し、今年（平成十三年度）電子的保存である「CD－R化」と「縮刷版」をこのほど完成させました。

これで歴史を積み重ねてきた公民館報が保存でき、かつ手軽に閲覧できるようになりました。

今後、縮刷版は図書室で見られるようになり、またCD－Rは事務室内にあるパソコンで見られますので、公民館へお気軽においでください。

公民館に待望のエレベーター、ついに完成

中央公民館に、長年の願いであったエレベーターが設置されました。

今後お年寄りや車椅子の方々からも、二階、三階の催し物や、活動に楽に参加していただけるようになりました。

公民館へ、おこしの際には、ご自由にエレベーターを、利用して下さい。

全国大会へ出場

家塚圭子さん（天ケ沢）エアロビックの新潟県代表に

十一月十一日～十二日の二日間、三重県松阪市において、第十四回全国スポーツ・レクリエーション祭が開催される。

この大会に新潟県の代表チーム（五名）の一人として、家塚圭子さんが出場します。

家塚さんは「エアロビックの楽しさを、表現できるように100％の力で、演技してきます」と力強く話されました。

ご活躍をお祈りいたします。

バドミントンで小学生五名が、県代表に

平成十四年一月四日～七日、広島市で行われる第十回全国小学生バドミントン選手権大会に新潟県代表として、当町から五名が出場します。

「ガンバレ、小須戸っ子！」

〔団体戦〕（敬称略）

・高山郁弥　・石黒真貴

〔男子ダブルス・六年生以下〕

・砂井宏太　石黒真貴　組

〔男子ダブルス・四年生以下〕

・砂井良介　米田健司　組

お知らせ

◎地域清掃を行います。

小須戸中学校ではチャレンジ21事業の一環として、地域清掃を計画・全校生徒が各町内ごとに、ゴミ拾いを行います。

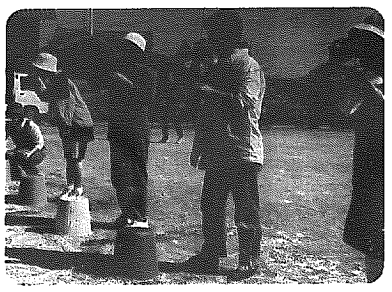
日時　11月20日（火）　午後2時～3時（小雨決行）
活動場所　町内の道路沿い・公園・神社・空き地等
※危険な場所や他人の敷地内は、入りません。

おらが地区の行事紹介

水田地区運動会とカボチャコンテスト

水田地区運動会は、地区全体の行事として盛り上げられるように運営されています。

平成四年に開催して以来、本年で十年目の開催となりました。


「かあちゃんがんばれ」ビールの早飲み競争

運動会と同時開催されるカボチャコンテストも定着してきています。今年も六月に全戸配布のカボチャの苗から、暑い夏を乗り切ったカボチャ達が会場に展示され、例年以上の大物が目を引きました。

このかぼちゃ、僕の6倍（60K）

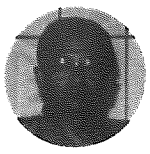
運動会の競技が終了すると、参加者全員で大昼食会です。各自のお弁当と、大きな鍋で作ったとん汁。カボチャコンテストの表彰も織り交ぜた、にぎやかなひとときです。

今年も幼児から、お年寄りまで楽しく秋の一日を過ごすことができました。

（水田地区青年部長・記）

第五十六回 県展入選作品の紹介(5)

「向日葵」



風間 忠雄さん（写真）

美しい花は、枯れてなおも美しく魅力的であった。その姿をとどめたく思い撮影した。

「舞」

高山 信市郎さん（写真）

柏崎市鵜川地域に伝承されている綾子舞です。

分館だより

矢代田分館『文化祭』

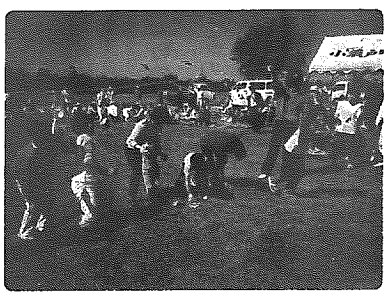
菊薫る秋晴れの中、ふれあい会館において十月二十七日（土）～二十八日（日）の二日間、恒例の矢代田分館文化祭が開催されました。

生花、書道、絵画、工芸、盆栽など力作が展示され、多くの見学者が鑑賞していました。

二十八日には、お菓子のバザーも開かれ、賑わいました。

芸術の秋

小須戸分館『ふれあいフェスティバル』


空も親子も、みんなさわやか

十月七日、親水緑地公園において、「第五回ふれあいフェスティバル」を行いました。

秋空の下で、中学生のボランティア委員会の皆さんや、嘱託員のお手伝いをいただき、約三百名以上の町民の参加を得て、盛大に開催することができました。

綱引きをはじめとする各種競技に老若男女問わず心地よい汗をかき、競技終了後は、バーベキュー大会を行い、日ごろ話をする機会のない参加者も、みんなで楽しく過ごすことが出来ました。

（小須戸分館長・記）

催し物ご案内

◎ニュースポーツ ユニホッケー参加者募集

プラスチックのボールをスティックでパスしながら、ゴールを決める簡単で楽しいスポーツです。

町の体育指導委員の皆さんが、やさしく指導してくれますので気軽に参加して下さい。

◆小須戸会場
日時　十一月二十四日（土）
会場　小須戸小学校体育館
◆矢代田会場
日時　十二月八日(土)・二十二日(土)
会場　矢代田小学校体育館
※時間は、両会場とも
　午前九時半～十一時
対象　四年生以上の親子十二組
（定員になり次第締め切り）
申込み　十一月二十二日(木)までに公民館へ電話で、お申込み下さい。
主催　小須戸町教育委員会
　体育指導委員協議会

◎クリスマスおはなしのプレゼント会

絵本と、おはなしの楽しさを味わってみませんか。

一日に二回、行います。

日時　十二月八日（土）
一回目　午後一時三十分
二回目　午後二時～
会場　中央公民館・二階和室
対象者　幼児から大人まで
読み手　読み聞かせボランティア

◎おもしろ博士講座「小さなコンサート」

♪クラシック音楽を気軽に聴きに来て下さい。

小須戸町出身の加藤姉妹が、ヴァイオリンとピアノだけの世界を披露いたします。

日時　十二月十四日（金）
　開演　午後七時三十分
会場　中央公民館・三階ホール
演奏者　加藤礼子さん（ヴァイオリン）〔小須戸中学校三年〕
　加藤容子さん（ピアノ）〔桐朋女子高校三年〕

※なお、加藤容子さんは、東京から帰省しての出演です。

曲目　スクリャビン作曲「ソナタ第一番・一楽章」
　ラロ作曲「スペイン交響曲・一楽章」他
入場料　無料
問合せ先　中央公民館

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆十二月の相談日
七日㈮・十四日㈮・二十一日㈮
◆受付時間
午後一時～五時
◆電話番号
三八―三三〇〇

◎お名前は、言わなくていいです。
◎秘密は、固く守ります。

文芸欄

句

余生なほ学ぶたのしさ子規忌かな　五十嵐香月
鬼灯（ほおずき）の嘘は嘘とも鳴らしけり　田中美根子
秋澄むや池の底まで鳥のこゑ　内山越楼
風の盆八尾（やっお）は坂の多き町　佐久間久子
名月を揺らして餅の搗きあがる　馬場綾子
住み慣れし人が去り行くいわし雲　藤井れい
秋の風入れて紺屋の通し梁　高橋みどり
鯛焼の匂ひまで見え秋の風　東樹ちよ
コスモスを活けて海辺のレストラン　中野雅世

俳

川柳（題：計算）

計算になかった倅（せがれ）との別居　高橋ただし
計算をしては出来ないボランティア　保科志枝
結婚と計算合わぬ出産日　藤井春江
躓（つまず）いた計算外の残務処理　保科一路

シリーズ「今、子どもたちは」(63)

「全校なかよし活動」

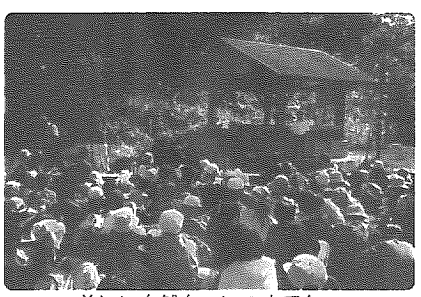
小須戸小学校

小須戸小学校では、過去二年間「信濃川親水公園」で日曜日に地域のお年寄りや地域住民、保護者等の参加を得て子供たちとの「ふれあい活動」を実施してきました。

今年から、全校の子供たちで（一年生から六年生までの縦割りの班）大沢公園及び高山ぶどう園を目的地とした全校歩き遠足を実施しました。

十月四日、快晴の秋晴れの中で往復約十キロを歩き通して、気力体力を養い、子供たちの心のふれあいを目指しました。

大沢公園では、沢遊び・ボール運動・割り箸てっぽうづくりなど自然の中で普段学校では体験できないことをたくさん学んできました。また、高山ぶどう園では、秋の味覚たっぷりのぶどう狩りを楽しみ、とれたての味と香りを満喫してきました。


美しい自然を、いつまでも…

催し物ご案内

◎親子冬の水鳥探鳥会

福島潟でヒシクイや、冬の渡り鳥を観察しませんか。

日時　12月8日（土）
　午前8時30分に小須戸町役場前へ集合・出発
行き先　豊栄市福島潟
対象　白根市・小須戸町の児童・生徒とその保護者
定員　25名（先着順）
持ち物　雨具、筆記用具、双眼鏡（持っている方）等
参加費　無料
※雨天の場合は「水の駅ビュー福島潟」で観察いたします。
申し込み・問合せ先　・11月19日（月）～26日（月）
　白根地区理科教育センターへ（☎025－372－2924）